

地震や台風、大雨などの自然災害は、ある日突然私たちの暮らしを脅かします。目頃から備えておくことで、いざという時の被害を最小限にとどめることができます。本特集では、災害に備えるための情報をお知らせします。ぜひご活用ください。

関防災対策係Tel 74-8765

— 落雷に備える —

令和7年4月10日、奈良県奈良市で部活動中の中高生が落雷の被害に遭ったことは記憶に新しいかと思います。天気予報で、「大気の状態が不安定」という言葉を耳にしたら、その日は落雷の危険性があります。身を守るために、正しい知識を身に付けましょう。

雷注意報が発表されたら

この注意報は、落雷のほか、突風、ひょう、強雨などの悪天候への注意を呼びかけているものです。いつでも避難できるよう準備をしましょう。雷の危険度は気象庁の雷ナウキャスト（右記 QR コード）で確認ができます。



雷鳴が聞こえたら

速やかに避難しましょう。鉄筋コンクリート造の建物や自動車、バス、列車の中などが特に安全です。木造建築の中も比較的安全ですが、電気器具からは離れるようにしましょう。安全な建物などがない場合は、安全な位置（落雷からの保護範囲）に退避しましょう（右記 QR コード参照）。



雷ナウキャスト



落雷からの保護範囲

— 災害はいつ起こるかわかりません —

みなさんは「見逃し」「空振り」と聞くと何を連想するでしょうか。ほとんどの方が野球を連想したと思いますが、実は気象用語でもあります。

「見逃し」と「空振り」について

「見逃し」とは、気象現象を予報していなかったのにその現象が起こることであり、「空振り」とは、気象現象を予報していたのに実際には起きないことを表します。予報が外れるのは同じですが、防災の観点からは「見逃し」よりも「空振り」が良く、気象台でも災害が起きるような気象については「見逃し」にならないように予報をします。そのため「空振り」が多くなりますが、予報が「空振り」で終わるのか、実際に的中するのかは誰にもわかりません。

また、災害は避難訓練のように、休日の日中や過ごしやすい天気の日に起こるとは限りません。早朝や深夜、猛暑や厳寒の日にも起こりえます。

気象情報や注意報・警報が発表されたときには、避難所や避難経路、非常時の持ち出し品の確認などを行いましょう。「空振り」に終わったとしても、避難訓練の機会になったと考え、ふだんから災害に備える習慣を作しましょう。



— 家の中の避難経路の確認を —

地震が発生した時のために、家具の固定をしている方も多いのではないのでしょうか。家具の固定をする際は、ふだんから人がいる部屋や、寝室を中心に固定しましょう。また、そこから家の外に避難することを考えて、経路を塞ぐ位置に家具を置かないようにしましょう。

北海道の住宅は、暖かい空気が外に逃げないようなつくりになっています。そのため、部屋同士が長い廊下で繋がっていない家が多く、いざという時に外に出る避難経路が少ないことがあります。災害が起きた際にすぐ逃げられるように、「家の中のどこを通過して逃げるか」をしっかりと考えておくことが大切です。



防災特集

“いざという時”に備えましょう！
－自身や大切な家族を守るために－

－災害情報の確認方法－

砂川市公式 LINE

気象情報や避難所情報などの防災情報を確認できます。もしもの時に災害から身を守るため、友だち追加しましょう。



友だち追加後に、防災メニューをタップすると、ハザードマップ、気象庁の防災情報、砂川市の気象モニター、川の水位、避難所・避難場所、土砂災害の情報を確認することができます。

砂川市の公式LINE
アカウントはこちら！



地デジ広報

スマートフォンやパソコンの操作が苦手な方も、自宅のテレビで災害時の情報などを取得することができます。

① UHB(チャンネル8)を選択

② リモコンのdボタンを選択

③ リモコンの黄色ボタンを選択

④ 見たい記事を選ぶ

※連動データ放送の場合は黄色ボタンを
2回押す必要があります



「Do はぐ」が新しくなりました！

Do はぐとは？

避難者の受け入れ、物資の配布、役割分担やトラブル対応など、避難所で起こり得るさまざまな出来事が書かれたカードを参加者で話し合いながら、避難所に見立てた平面図に配置する「避難所運営ゲーム HUG」の北海道版です。

内容が新しくなりました！

コロナ禍や多様性などの時代の変化を踏まえ、近年の社会の状況を反映した内容となりました！ゲームを通じて、災害発生初期に起きるさまざまな問題を模擬体験してみませんか？このゲームは、まちづくり出前講座で体験することができます。

出前講座の
詳細はこちら



市 HP



実際の様子

— 自主防災組織を設立しませんか —

自主防災組織とは？

「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚と連帯感に基づき、自主的に結成する組織であり、災害による被害を予防、軽減するための活動を行っています。災害はいつ発生するかわかりません。災害の規模によっては道路の寸断や救助要請の集中により、公共防災機関による救助・援助が期待できないことがあります。

このような事態が発生した場合に、それぞれの地域で普段から顔を合わせている近隣の人が協力して防災活動を展開し、お互いの命や財産を守らなければなりません。また、地域の避難行動要支援者に手を差し伸べることができるのは、身近にいる地域の皆さんです。自主防災組織を結成し、災害発生時の役割分担などの体制を整えておくとともに、避難行動要支援者、避難経路などの情報を共有化することで、地域の被害の軽減を図ることができます。

▼市内の自主防災組織

新石山団地町内会、緑ヶ丘町内会、豊栄町内会、石山団地町内会、月見丘町内会、新晴見町内会、共親町内会、東雲町内会、あかね団地町内会、宮川町内会、新町町内会、千歳第1町内会、北光団地町内会、親栄町内会、空知太第5町内会、空知太すみれ町内会

▼今年度は2つの町内会で自主防災組織が発足

6月12日に空知太第5町内会(写真左)、6月15日に空知太すみれ町内会(写真右)で自主防災組織発足式が行われ、自主防災組織は16町内会となりました。



自主防災組織を結成するには

町内会の役員などで、自主防災組織の必要性を検討し結成について話し合います。自主防災組織の説明が必要な場合は、防災対策係(Tel 74-8765)へお問い合わせください。また、規約・組織図などの作成が必要となるほか、結成することを砂川消防署へ伝える必要があります。詳細は砂川消防署予防課広報係(Tel 54-2196)までお問い合わせください。

自主防災組織設立を援助します！

自主防災組織の設立に必要な防災資機材の購入費用に対し、地域コミュニティ活動支援事業補助金(補助率100%で2万円を上限)を交付します。なお、1町内会1度までとなります。

▼用途別の主な防災資機材

用途	対象物品	用途	対象物品
情報収集・伝達用	電池メガホン、 携帯用ラジオなど 	救護用	救急箱、毛布、 簡易ベッドなど 
初期消火用	消火器、ヘルメット など 	避難所・避難用	発電機、投光器、コードリ ール、寝袋、 ストーブなど 
水防用	スコップ、土のう など 		
救出用	のこぎり、ロープ など 	給食・給水用	鍋、やかん、 カセットコンロなど 